

(配布先)

施工担当部署長・建設所長・設備部長
副部長、副所長、統括工事長(建築・土木)
安全長・安全主任
関西支店取引業者災害防止協議会
S・BLC関西社

事務連絡(安-2019-33)

令和元年10月9日

関西支店

安全環境部長



台風19号対策の徹底について

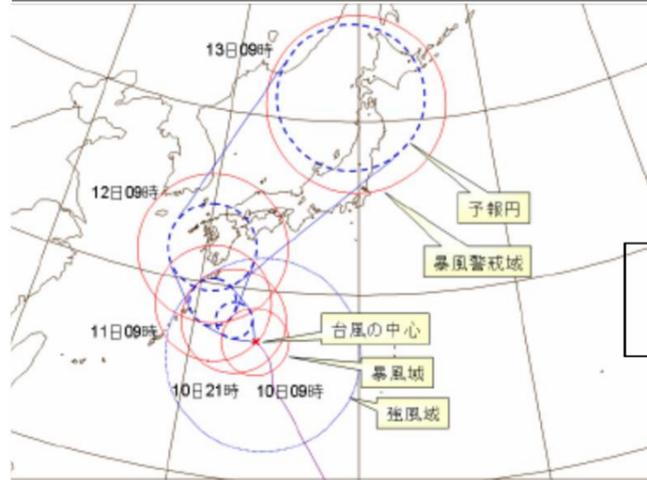
ご承知のとおり現在、強い台風19号が日本に接近中です。
予報によると、土曜日以降に近畿方面に接近するとの事ですが、
最近では台風からかなり遠い場所でも豪雨や強風の被害が出ています。

既に貴部署におかれましても、対策を講じられていることと思いますが、今一度風雨等に対する備えを確認して下さい。強風に対するクレーン等の措置については「安全衛生の手引き」110～113ページ及び添付資料を参考に対処して下さい。台風通過後作業を再開するにあたっては仮設機械類や仮設設備等の点検をし、安全確認の上作業を再開して下さい。足場については「安全衛生の手引」56ページを参考にして下さい。

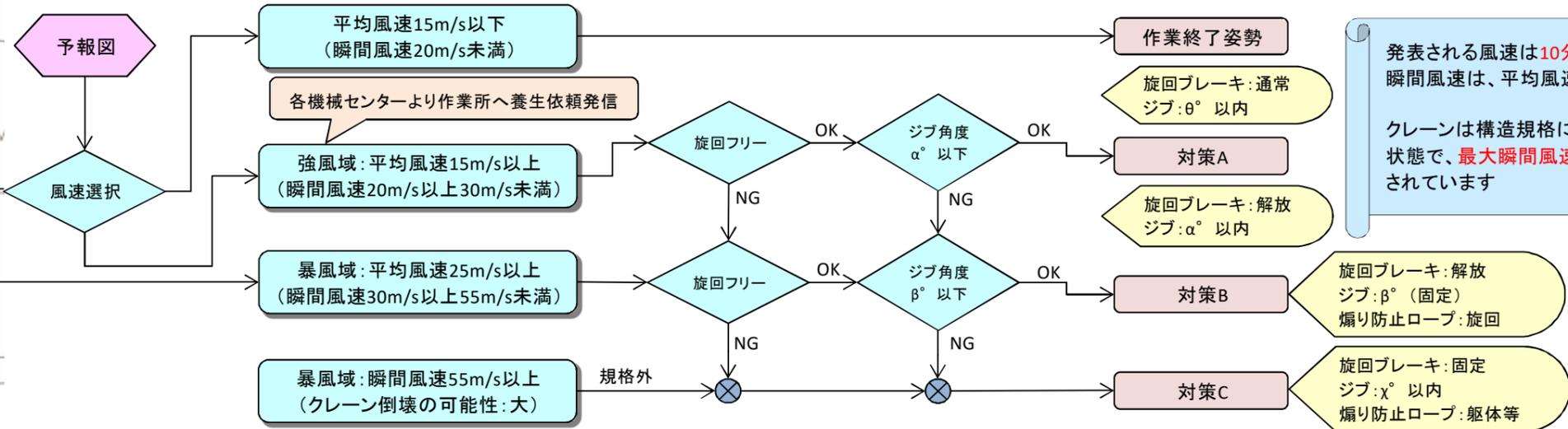
なお、施工担当部署の連絡体制を再確認し万全を図って下さい。万一、台風による事故・被害が発生した場合は、緊急連絡網により、総務部・安全環境部等へ延滞なく連絡をお願いします。

- ※ 暴風警報が発表された地域においては、各作業所従業員1名以上の待機体制をとれるように準備をお願いします。暴風警報解除後の待機体制の解除については、部署長の判断として下さい。
- ※ その他(大雨・洪水・波浪等)の警報時、注意報時の対応については、部署長の判断として下さい。

以 上



台風予報図: 台風中心から東側南寄りの風が最も強い
: 平均風速15m/s以上が台風となる



発表される風速は10分間の平均値を示す
瞬間風速は、平均風速の1.5~2.0倍に相当

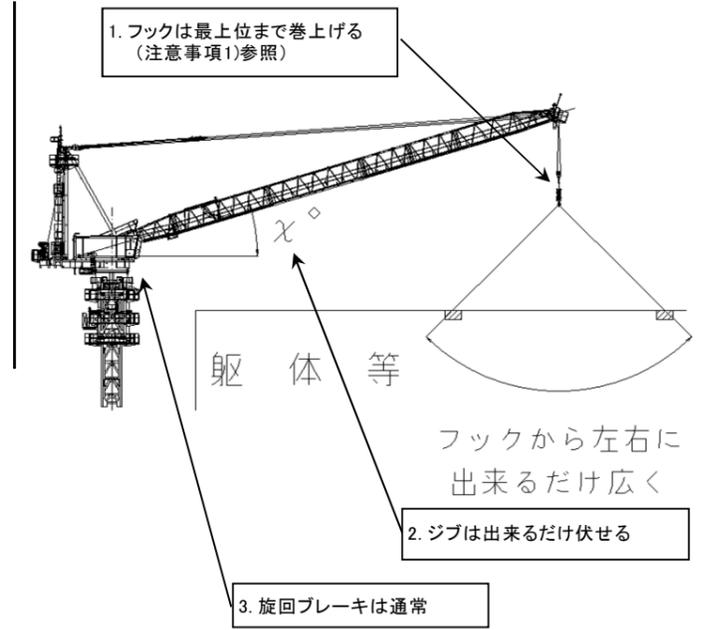
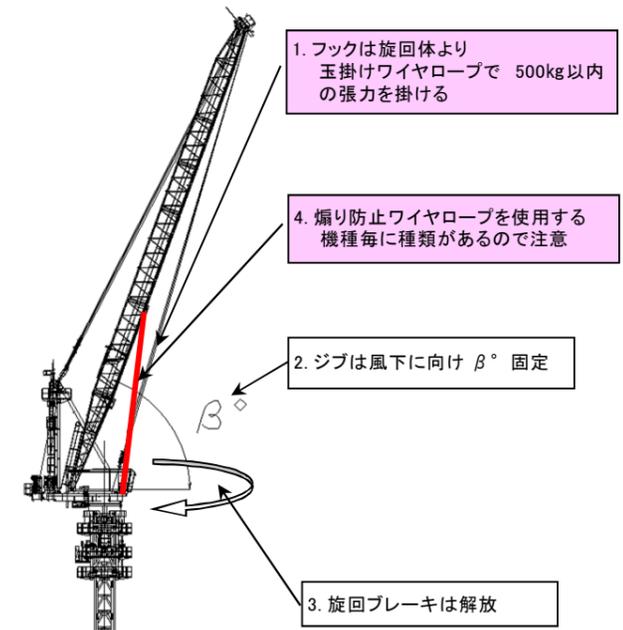
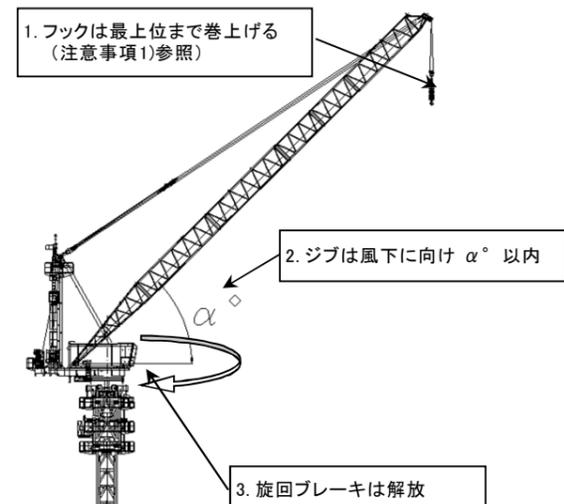
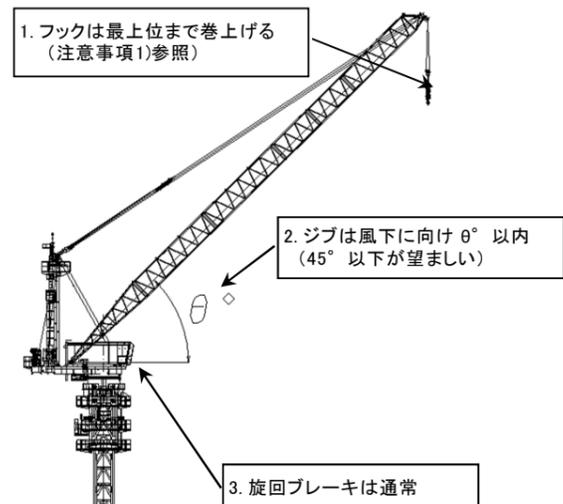
クレーンは構造規格によりジブを風下に向けた状態で、最大瞬間風速55m/sに耐えるよう設計されています

作業終了姿勢

対策A

対策B

対策C



- (注意事項)
- 「フックは最上位まで巻き上げる」は過巻リミットが作動する直前の状態。
 - 旋回ブレーキ開放要領(手順)は、別紙参照とし、使用再開時は必ずブレーキを復帰させる。(復帰要領は開放要領(手順)の逆とする。)
 - 電源は全て遮断する。但し、航空障害灯は点灯させる。(別電源になっていることを確認)
 - 煽り防止ワイヤロープを設置した場合、使用再開前に必ず取り外し、外したことを確認してから使用する。

暴風(台風)の標準的な対策とする

【参 考】 機種/対策別ジブ角度詳細一覧 *ジブ角度欄の()は、その角度時の半径

風速	対策状態	メーカー名 機種名	IHI運搬機械										小川製作所		
			JCC-V720S	JCC-V680S(M)	JCC-TS500	JCC-400H	JCC-V350S(Ⅱ)	JCC-V240S	JCC-230HS	JCC-180U	JCC-V170S	JCC-120N	OTS-100N		
本表の条件(最大作業半径/GLからのマスト高さ)			45m/200m	52m/120m	52m/200m	42m/200m	40m/200m	41m/200m	35.5m/200m	40m/200m	40m/90m	30m/120m	35m/120m	30m/100m	
通常	平均15m/s以下	終了姿勢	ジブ角度0°	70°(15.0m)	70°(16.9m)	70°(16.9m)	65°(17.6m)	65°(16.2m)	65°(16.9m)	70°(12.0m)	65°(16.5m)	60°(19.2m)	70°(9.8m)	70°(11.5m)	55°(16.0m)
強風	平均15m/s超 25m/s以下	対策A	ジブ角度α°	55°(26.9m)	55°(30.2m)	30°(46.7m)	45°(31.0m)	45°(29.3m)	45°(29.8m)	50°(24.0m)	45°(29.5m)	35°(33.3m)	50°(20.1m)	50°(23.0m)	55°(16.0m)
			旋回開始瞬間風速	37m/s以上	33m/s以上	19m/s以上	30m/s以上	24m/s以上	27m/s以上	26m/s以上	29m/s以上	15m/s以上	36m/s以上	0m/s以上*	37m/s以上
暴風	平均25m/s超 35m/s以下	対策B	ジブ角度β°	70°(15.0m)	70°(16.9m)	70°(16.9m)	70°(13.8m)	70°(12.5m)	70°(13.2m)	70°(12.0m)	70°(12.8m)	60°(19.2m)	70°(9.8m)	70°(11.5m)	50°(19.0m)
			旋回開始瞬間風速	71m/s以上	57m/s以上	43m/s以上	60m/s以上	63m/s以上	75m/s以上	65m/s以上	82m/s以上	38m/s以上	152m/s以上	0m/s以上*	45m/s以上
対策C			ジブ角度χ°	現場敷地内で可能な限り伏せる(倒壊の恐れがあるため、現場敷地内で処理)											

※旋回開始瞬間風速は、旋回ブレーキを拘束した場合の風速を記載。但し、旋回フリー(旋回ブレーキ解放)が基本対策

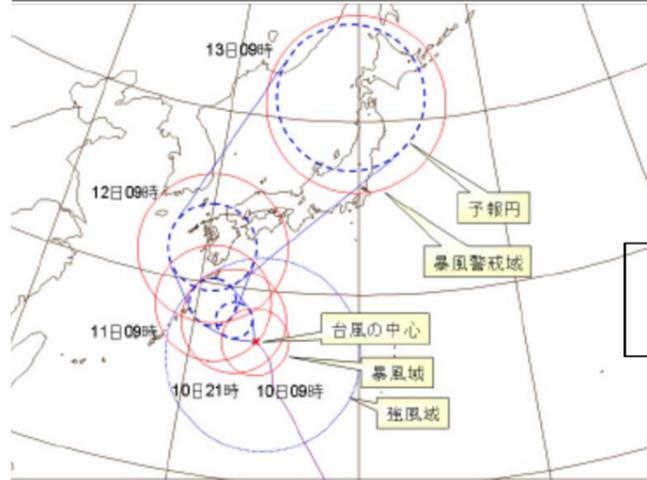
*JCC-120N旋回ブレーキは足踏みブレーキのみ

■台風の通過後、事務連絡(安)18-13「クレーン等台風対策確認報告について」に基づき、「台風()号対策一覧表(改訂版)」に記載し、本社安全環境部まで報告ください。

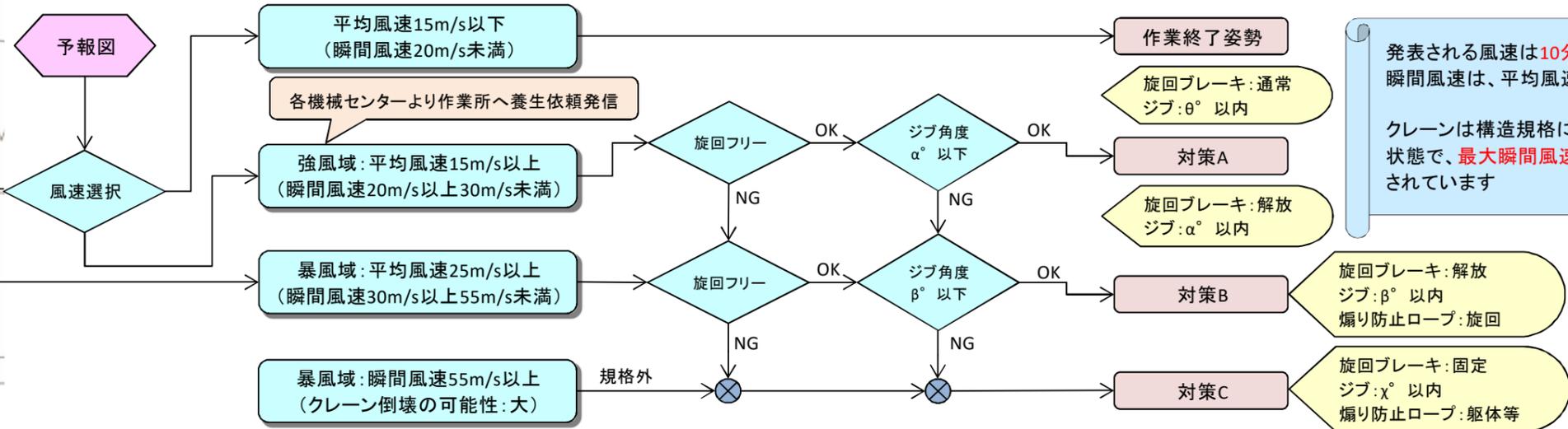
制定: 2008.06.19

改訂:② 2018.07.30

生産支援本部本部 生産技術部

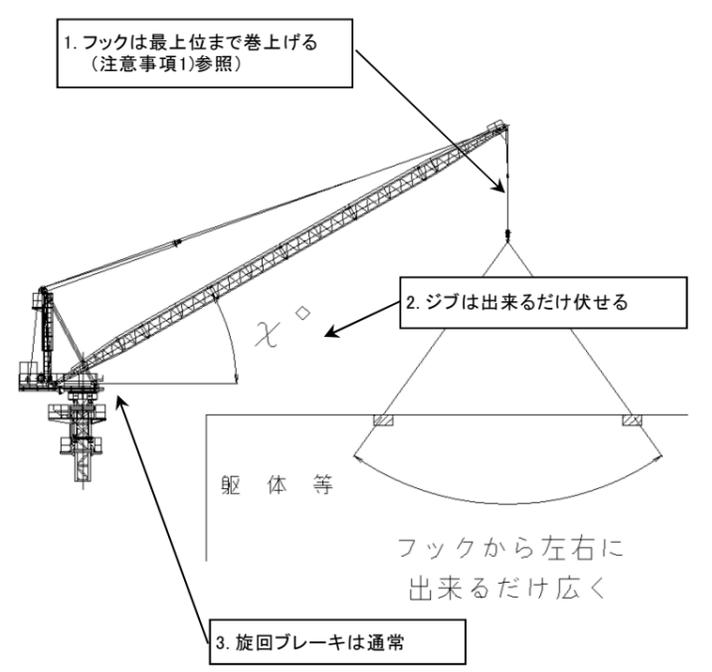
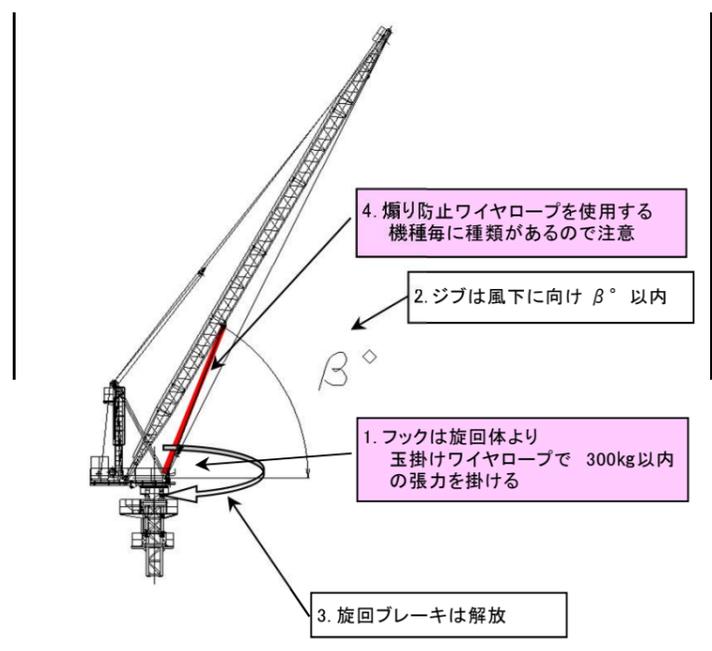
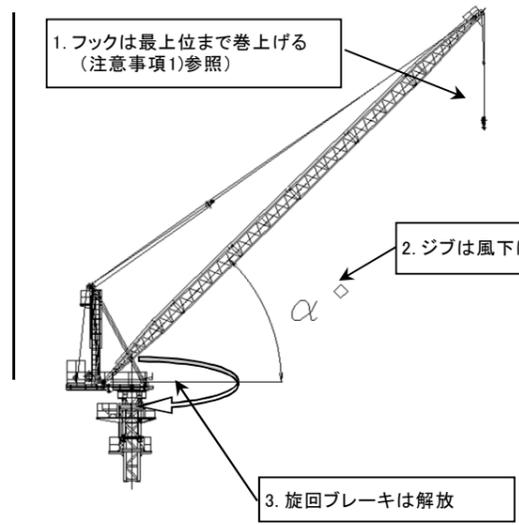
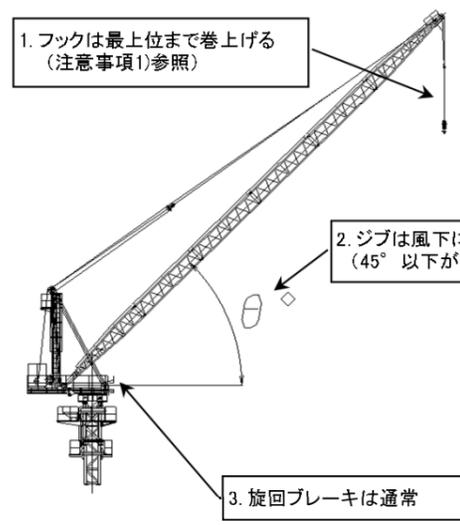


台風予報図：台風中心から東側南寄りの風が最も強い
：平均風速15m/s以上が台風となる



発表される風速は10分間の平均値を示す
瞬間風速は、平均風速の1.5~2.0倍に相当
クレーンは構造規格によりジブを風下に向けた
状態で、最大瞬間風速55m/sに耐えるよう設計
されています

作業終了姿勢 対策A 対策B 対策C



- (注意事項)
- 「フックは最上位まで巻き上げる」は過巻リミットが作動する直前の状態。
 - 旋回ブレーキ開放要領(手順)は、別紙参照とし、使用再開時は必ずブレーキを復帰させる。(復帰要領は開放要領(手順)の逆とする。)
 - 電源は全て遮断する。但し、航空障害灯は点灯させる。(別電源になっていることを確認)
 - 煽り防止ワイヤロープを設置した場合、使用再開前に必ず取り外し、外したことを確認してから使用する。

暴風(台風)の標準的な対策とする

【参 考】 機種/対策別ジブ角度詳細一覧 *ジブ角度欄の()は、その角度時の半径

風速	対策状態	メーカー名	小川製作所				コシハラ							
			機種名	OTS-80NH	OTS-50N	OTS-1225C	OTS-20NH	KCP・H3-2030	KCP・T-1240	KCP-1235	KCP・H2-1020	KCP・H-1020	KCP-1020	KCP・H-1015
本表の条件(最大作業半径/GLからのマスト高さ)				40m/100m	30m/48m	25m/49m	20m/65m	30m/82m	40m/80m	35m/82m	20m/47m	20m/47m	20m/47m	15m/47m
通常	平均15m/s以下	終了姿勢	ジブ角度0°	50°(25.7m)	50°(19.2m)	55°(13.9m)	60°(9.5m)	54°(17.0m)	65°(15.7m)	57°(18.0m)	52°(12.1m)	52°(12.1m)	52°(12.1m)	48°(10.3m)
強風	平均15m/s超 25m/s以下	対策A	ジブ角度α°	40°(31.0m)	40°(23.4m)	40°(19.2m)	45°(14.0m)	40°(23.0m)	60°(19.2m)	46°(24.0m)	37°(16.3m)	37°(16.3m)	37°(16.3m)	39°(12.0m)
			旋回開始瞬間風速	23m/s以上	21m/s以上	23m/s以上	40m/s以上	24m/s以上	21m/s以上	26m/s以上	36m/s以上	28m/s以上	28m/s以上	36m/s以上
暴風	平均25m/s超 35m/s以下	対策B	ジブ角度β°	65°(16.2m)	60°(14.9m)	60°(16.9m)	60°(9.5m)	65°(11.5m)	65°(15.7m)	65°(15.3m)	65°(7.8m)	65°(7.8m)	65°(7.8m)	65°(5.8m)
			旋回開始瞬間風速	35m/s以上	27m/s以上	25m/s以上	55m/s以上	36m/s以上	24m/s以上	51m/s以上	56m/s以上	44m/s以上	46m/s以上	55m/s以上
		対策C	ジブ角度χ°	現場敷地内で可能な限り伏せる(倒壊の恐れがあるため、現場敷地内で処理)										

取引業者		略称	統責者			点検者
施工場所						
区分	点検項目 (関係法令等)	実施者 当社 業者	チェック		記事・是正等	
トラッククレーン	置場の地盤や構台は、雨水などにより崩壊する危険がないか ジブをねかし、地上又は構台にあずけてあるか (ク則74の4) タワー式クローラクレーンの場合は、ジブの他にマストもねかせておくか、又はマストからトラワイヤを張る					
	旋回装置を完全にロックしたか					
	運転席等の窓や扉を完全に閉鎖したか					
タワークレーン (ジブ式)	フックは空荷のまま最上位まで巻き上げてあるか					
	ジブは伏限界まで下げたうえ風下に向けてあるか					
	旋回装置をフリーにして、本体が風にさからわずに自由に廻るようになっているか					
	制御盤、運転室等の扉や窓は完全に閉鎖したか					
	電源用キャブタイヤケーブルは風にあおられないようマストに固縛したか					
	電源はすべて切ったか					
	必要に応じてマストからトラワイヤを張ったか					
	障害物等のため、旋回装置をフリーにできないときは次の措置をしているか (ク則31の3) ジブを堅牢な構造物にあずけて固縛する (ジブをあずける場所がないときは (a) ジブを伏限界まで下げて風下に向ける (b) 旋回装置をロックする (c) フックを空荷のまま最上位まで巻き上げる (d) ジブから左右にトラワイヤを張る(2本以上)) 旋回部は、木片又は台付ワイヤ等で固定する (ローラ部も併せて固定する)					
タワークレーン (非ジブ式)・小型タワークレーン	フックは空荷のまま最上位まで巻き上げてあるか					
	旋回措置をフリーにして本体が風にさからわずに自由に廻るようになっているか					
	障害物又は機械構造上で旋回装置をフリーにできないときは、タワークレーン(ジブ式)に準じて養生する (ク則31の3)					
	電源用キャブタイヤケーブルは、制御盤から取り外して本体と切り離しマストに固縛したか (180t・mはタワークレーン(ジブ式)に準ずる)					
	操作ケーブルは制御盤の所にまとめて、シート等で雨養生してあるか					
	制御盤、運転室等の扉や窓は完全に閉鎖したか					
	電源はすべて切ったか					
必要に応じてマストからトラワイヤを張ったか						

(点検記号 良好：○印、不良：×印、該当せず：/印)

取引業者 _____

施工場所 _____

略 称	統責者			点検者

区分	点 検 項 目 (関係法令等)	実施者		チェック	記 事 ・ 是 正 等
		当 社	業 者		
ジ ブ ク レ ー ン	ペンダントロープを取り外し、ブームを地上又は堅牢な構造物等に固縛してあるか (ク則31の3) 〔ジブをねかせて、構造物等に固縛できないときは、タワークレーン(ジブ式)の旋回装置をフリーにできない場合に準じて養生する〕				
	旋回装置は完全にロックしたか				
	電源キャブタイヤケーブルは、制御盤より取り外してベース部に固定したか				
	操作ケーブルは、制御盤の所にまとめて、シート等で雨養生したか				
	電源はすべて切ったか				
	電源の鍵はきちんと保管されているか				
橋 型 ク レ ー ン	フックを空荷のまま最上位まで巻き上げてあるか				
	トロリーは雨覆い下に格納したか				
	操作ケーブルは脚に固縛し、押ボタンスイッチの雨養生はしたか				
	制御盤、運転室等の扉や窓は完全に閉鎖したか				
	電源はすべて切ったか				
	電源用キャブタイヤケーブルが水没する恐れのあるときは、ケーブルの養生はよいか				
	歯止めをかけ、逸走防止装置(落とし込み装置、レールクランプ)をセットしてクレーンを固定したか				
リ フ ト ・ エ レ ベ ー タ ー ・ 昇 降 足 場	脚上部より控網を張り、アンカーに固定したか				
	看板等をクレーンに取付けてある場合は、風圧の増加について十分配慮しているか				
	荷台を最下部に降し、シートで雨養生したか				
	制御盤の扉は完全に閉鎖したか				
	上部に設置されているマシン類はシートでしっかりと養生したか (風に対するシートの飛散がないよう特に配慮する)				
	電源はすべて切ったか				
	ピット部に設置されている機器は、水没しないよう、排水設備を設けてあるか				
	ガイドレール、マスト等は、固定状況を事前に確認したか				

(点検記号 良好：○印、不良：×印、該当せず：/印)

2-13-3 杭打機、電気設備養生

年 月 日

取引業者 _____
 施工場所 _____

略 称	統責者			点検者

区分	点 検 項 目 (関係法令等)	実施者		チェック	記 事 ・ 是 正 等
		当 社	業 者		
杭打機・ 杭打槽	置場の地盤や構台が雨水などにより崩壊する危険はないか				
	マストはねかして、地上又は構台にあずけてあるか <small>〔マストをねかすことができないときは、トラワイヤを張り、マスト下端を鋼材等で受ける〕</small>				
	旋回装置は完全にロックしたか				
	運転席などの窓や扉を完全に閉鎖したか				
電気設備・ 電気機器	不要な電源スイッチなどは切っているか				
	屋外電気機器に防水カバーはつけたか				
	ブラブラしている電線はないか				
	電柱が風で倒れる心配はないか				
	変電所まわりの排水はよいか				
	水没する恐れのあるキャブタイヤケーブルやスイッチボックスはないか				

(点検記号 良好：○印、不良：×印、該当せず：/印)